



シェーカーを振る山野井さん（右）。小気味良い音が、大谷石の壁によく響く

## BAR山野井（宇都宮市）

# 大谷石に抱かれもう一杯

建築の巨匠フランク・ロイド・ライトの傑作「旧帝国ホテル」は、私が生まれる6年前、1967年に閉鎖された。他の建材と組み合わせることで、基調とする県産材・大谷石の特色を際立たせていたと聞く。

想像するに、このバ

ーの内装のような感じか。看板や壁面、柱にあしらわれた大谷石の素朴な温かみが、県都の夜景を望む広いガラス窓や木材と相まっ

# びじゅつとHOT

て、効果的。高級感がありながら、居心地のよさも感じる。

カクテルの街・宇都宮を代表するバーテンダーの一人、山野井有三さん(59)が妻の訓子さん(35)とともに、長く営んできた「バーYAMANOI」を若手スタッフに任せ、同じ

ビル7階で9月に開いた新店だ。「宇都宮らしさを追い求め、その頂点を目指した空間」と、山野井さんは言い切る。

91年の全国コンテストで最優秀作品に輝いたオリジナルのカクテルを味わった。鮮やかな緑色の「フールド・シンフォニー」。ブルーベリーやオレンジなど上品な甘みが何種類も絡んで響き合う感じは、なるほど交響曲のよう。さて、いい気分になってきたところで、2杯目はいつものウイスキーをお願いしよう――。

こんな夜は、締め切りを忘れてしまふから困ったものだ。

(込山駿)

午後8時～午前3時。月曜定休。チャージ1000円、カクテル1000円から。宇都宮市江野町2の6高橋ビル7階。0358・0388・004510。